



私の夢

遠藤さんに畑を提供して頂き、丸4年に成りました（市議会議員上橋さんの橋渡しで平成23年4月より）。その間、株式会社メリーズジャパンの方と知り合い、サツマイモの契約栽培を依頼され、焼酎芋3千本を植えました。今年の6月に新酒が届きます。2年目になり、まだまだ認知度が低いので、なんとかしたいと、又新しい企画を考えている次第です。「農作物で工賃を稼ぎ出せばいいなあ」と思い、試行錯誤しています。縁の下の力持ちである遠藤さんの御力をお借りして、なんとか利用者さんの工賃アップを図りたいです。畑では、皆で石拾いをしており、だいぶ石も少なくなりました。又、メリーズジャパンさんから頂いた生堆肥の熟成を図っており、利用者さんの力で、土壌が日に日に肥えています。2～3年後には素晴らしい畑が出来上ると思います。ますます品質の良い作物が出来る事を期待しており、やがては、銀座の有名店のシェフの皆さんに野菜を使ってもらえたらいいなあ～と夢見ています。利用者の皆も一番大変な石拾い、草取りを頑張っています。大空の下、太陽、風、大地の恵みを受け、心身共に健康になってもらいたい。引きこもりで居た人も、元気に畑作業に精を出しております。障害のあるなしに関わらず、誰でも参加できるのが畑作業の良いところだと思います。イモムシのように土と野菜に囲まれて大きく育ち、蛹になり、羽化して蝶々になり、大空を飛び回る日も近いかなあ～と夢見しております。



縁の下の力持ち Part 1. 遠藤秀生さん



平成二十七年五月十五日に「いもむし」本部にて、遠藤さんと理事長吉田で対談しました。

吉田「今日はお忙しい中、お時間を取って頂き、ありがとうございます。」
遠藤「今年で四年になりましたね。畑で一番ネギが良い値段に成ります。この五月中旬がかき入れ時ですよ！」

吉田「そうですね。お陰様で今年が良いネギが収穫出来ました。去年はほとんど遠藤さんからの頂き物で、五月だけで六十八万九千二百四十円を市場に納めることができ、頑張った人には工賃をそれなりに払いました。」
遠藤「ネギの種まきを時期に合わせてやれば、万遍なく一年中出荷出来ます。そうしてほしい。葱担当に言ってお下さい。六月中旬にはエダマメの出荷が出来ると思う。「いもむし」の畑で良い苗がたくさん育っており、楽しみです。」

吉田「遠藤さんの畑を自由にに使わせて頂いていることに感謝です。」
遠藤「私の堆肥も、遠慮せず畑に撒いて土を肥やしてください。良い野菜が沢山採れますから。ほうれん草は虫もつかないし、葱は2・3ヶ月分づつ種を蒔いて苗にしておけば、一年中収穫出来る。知らなかつたら人に聞く、これが一番です。」

吉田「そうですね、今度、大学の先生に入ってもらい、土壌検査やいろいろ教わりたいです。メリーズジャパンの人たちは野菜を銀座の高級料亭に納めているそうです、それも、データをきちんと出せる人がいると売れ筋が違ってくるんです。誰か農大を出た方は居ませんか？」
遠藤「私の仲間に居ますよ、その人は千葉大を出て、種苗会社に勤めていました。話をしあげてもいいですよ。」

吉田「ありがとうございます。その時は、宜しくお願い致します。」
遠藤「私の動機は、障がいには負けないで頑張っている人達を応援したいと思ったからなんです。だから、畑を自由に使って良いと言ったんですよ。」
吉田「それは有り難い話です。その件ですが、顧問税理士の方からは、特定非営利活動法人として、利用者さんが安心して末永く畑作業が出来るように、利用者さんに少しでも有利になるように、遠藤さんと良い方法を考えていきたいですね、と言われております。」

遠藤「私もそう思います。良い方法を考えましょう。」
吉田「そうですね。この子たち（利用者さんたち）が末永く、安心してできる畑の仕事と居場所を残してあげたいと思って、私はこの仕事をしています。今日は遠藤さんの気持ちを聞かせて頂いて嬉しく思いました。」

今日は長い時間有り難う御座いました。今後とも宜しくお願い致します。」